

足立区外国人実態調査 継続調査結果(速報)

令和5年9月

足立区 地域のちから推進部 地域調整課 多文化共生

目次

1 大人への調査結果 (1～3ページ)

調査方法や回答者の属性などの概要説明、令和4年度の設問の中からピックアップした項目について、区による集約結果を記載する。

2 子どもへの調査結果 (4～7ページ)

調査方法や回答者の属性などの概要説明、令和4年度の設問の中からピックアップした項目について、区による集約結果を記載する。

3 インタビュー調査結果 (8～9ページ)

令和3年度調査で回答が少なかった層（低所得世帯や日本語能力が不十分な層）に対して実施したインタビュー調査の主な質問と回答を掲載する。

4 課題と今後の支援について (10ページ)

本調査から見えた課題と今後の支援の方向性をまとめて記載する。

1 大人への調査結果 (1) 調査概要

調査目的

外国人の実態や生活上の困りごとを把握し、その結果を踏まえた事業の構築を検討する

調査方法

調査票（やさしい日本語と対象者の母国語）を送付、郵送またはWebで回答

調査対象

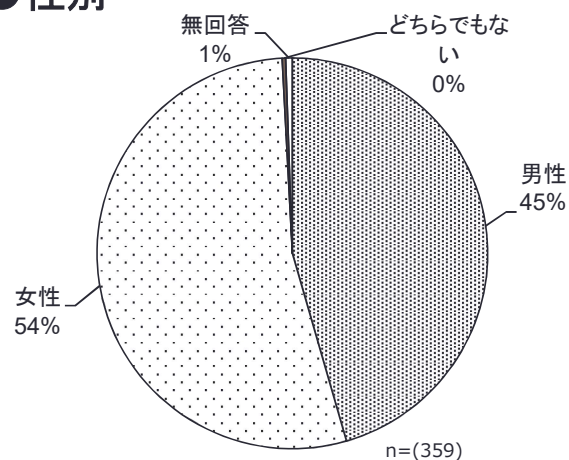
令和3年度の第1回足立区外国人実態調査で継続調査へ同意した区内在住外国人1,130人

調査期間と回収状況

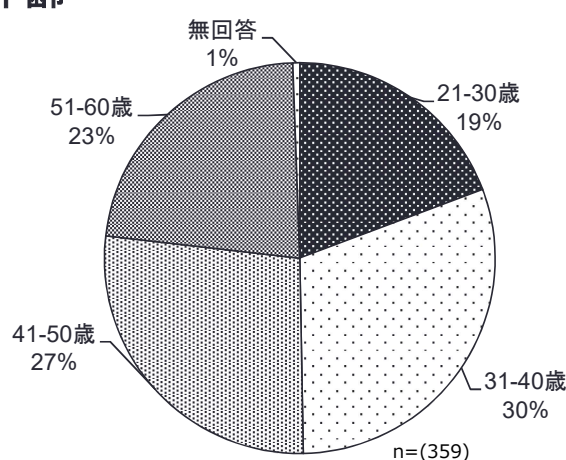
調査期間：令和4年12月15日～令和5年1月15日
回収数：359件
回収率：31.8%

回答者の属性

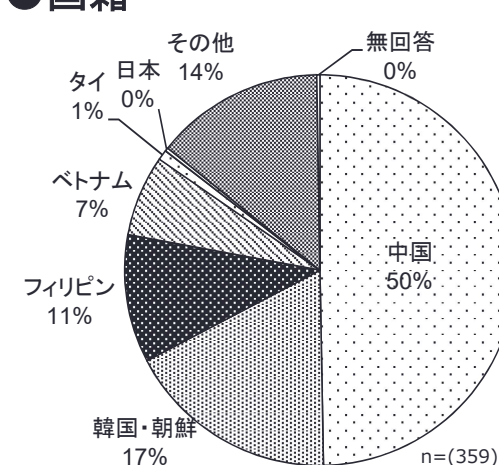
●性別



●年齢

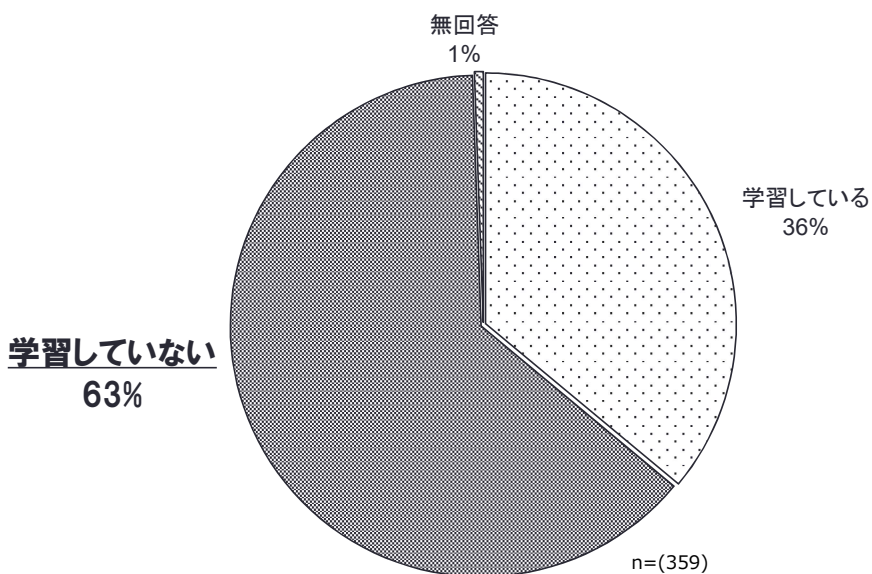


●国籍

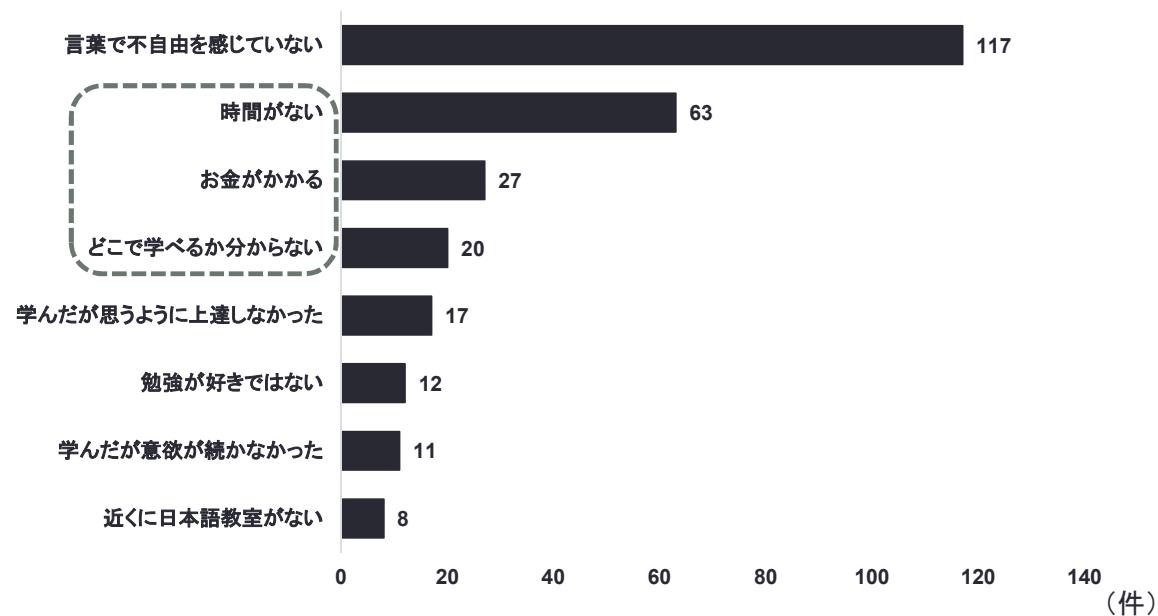


1 大人への調査結果 (2) 日本語学習状況と学ばない理由

Q.現在、日本語を学習しているか



Q.日本語を学んでいない理由



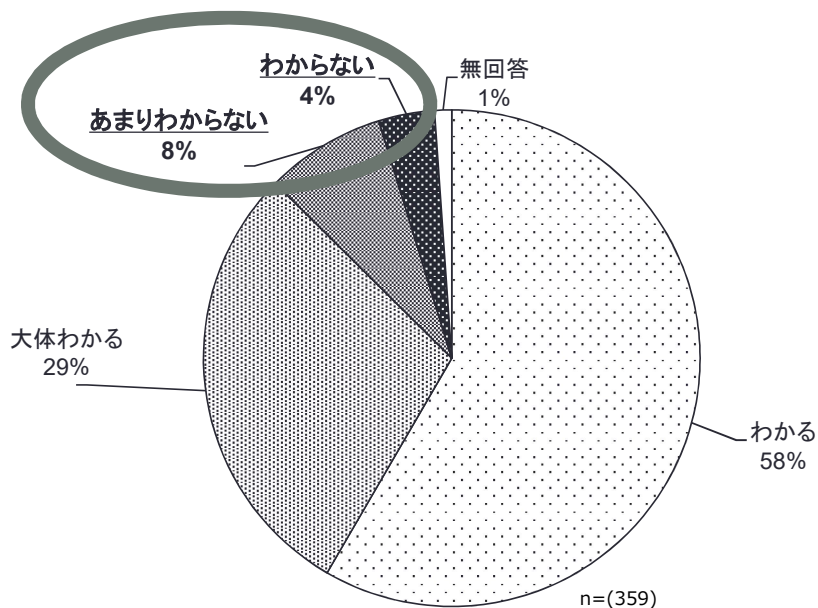
日本語を学習していない人のうち、「言葉で不自由を感じていない」人が多い中、「時間がない」「お金がかかる」「どこで学べるか分からない」という理由で日本語を学習していない人が一定数いることが分かる。



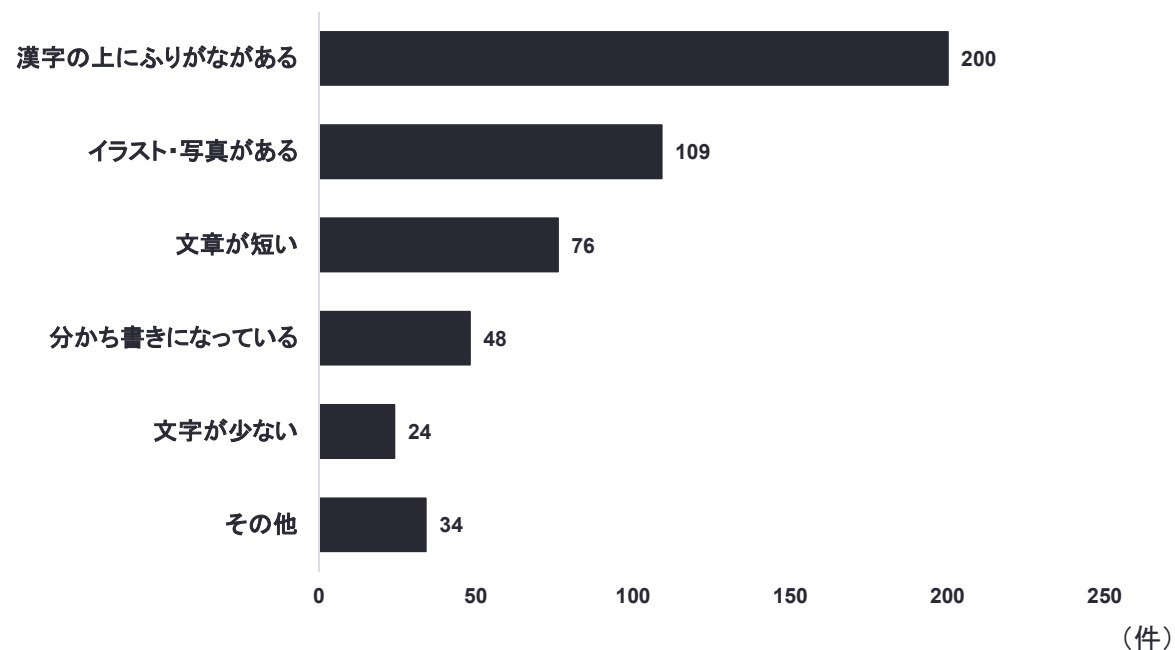
こうした外国人の日本語学習環境を整えることを検討していく。

1 大人への調査結果 (3) 区から届く手紙の理解度

Q.区から届く手紙の理解度



Q.どう書いてあると分かりやすいか



約1割の回答者が区からの手紙の内容を理解できていないということが分かる。



「ふりがなやイラストが多いと分かりやすい」という回答が多いことから、やさしい日本語に書き換えた手紙を同封するなど、通知の仕方を検討する。

2 子どもへの調査結果 (1) 調査概要

調査目的

外国にルーツを持つ子どもの実態を把握し、その結果を踏まえた事業の構築を検討する

調査対象

令和3年度の第1回足立区外国人実態調査で継続調査へ同意した外国人世帯に属する子ども380人

調査方法

調査票（やさしい日本語）を送付、郵送またはWebで回答

調査期間と回収状況

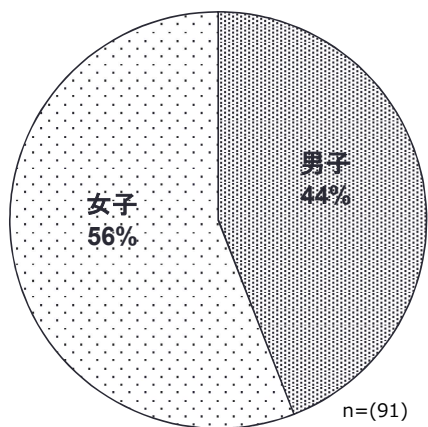
調査期間：令和4年12月15日～令和5年1月15日

回収数：91件

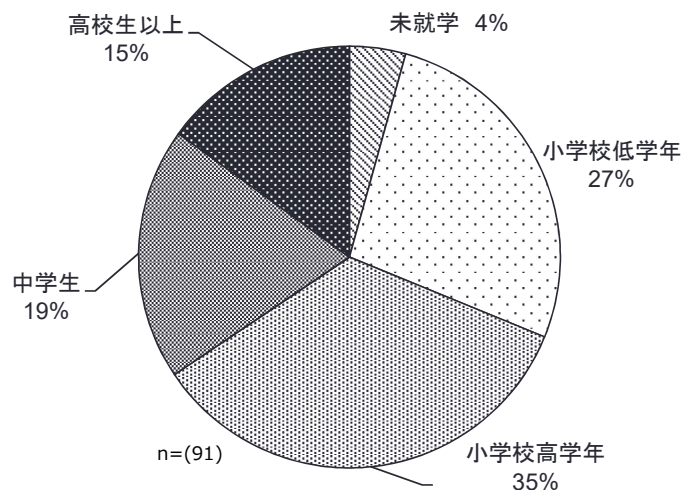
回収率：23.9%

回答者の属性

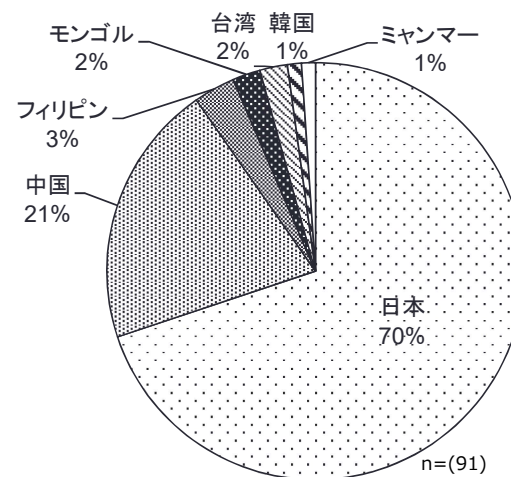
●性別



●年齢

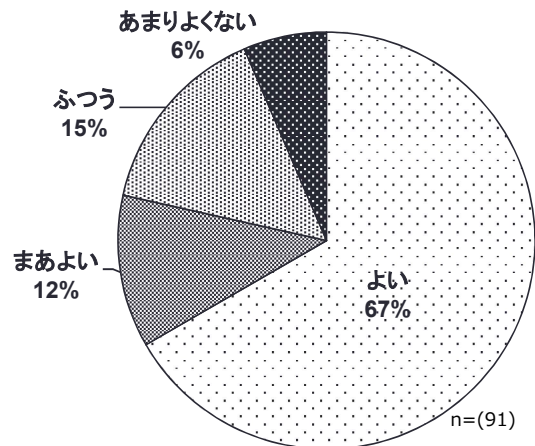


●国籍

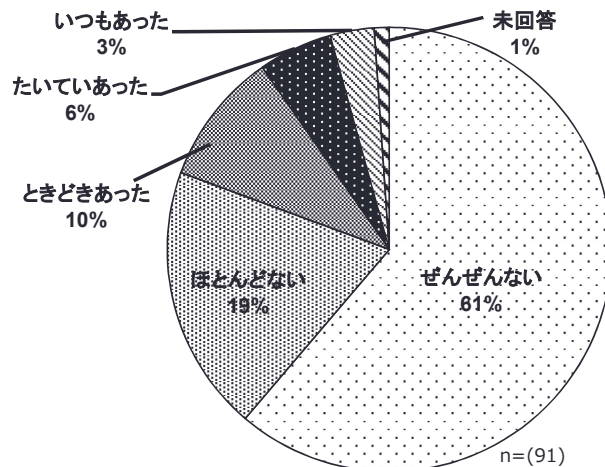


2 子どもへの調査結果 (2)健康状態・親と会話する際の言語

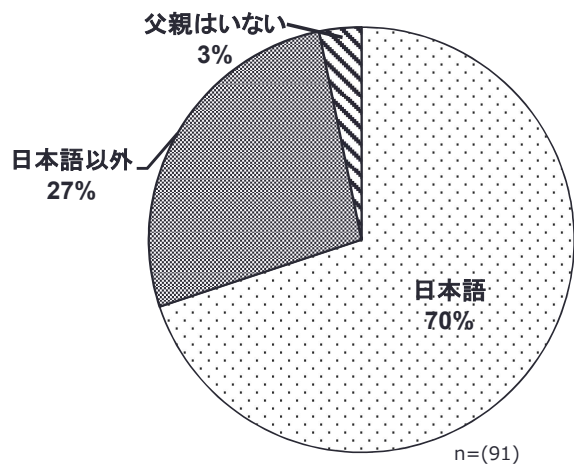
●健康状態



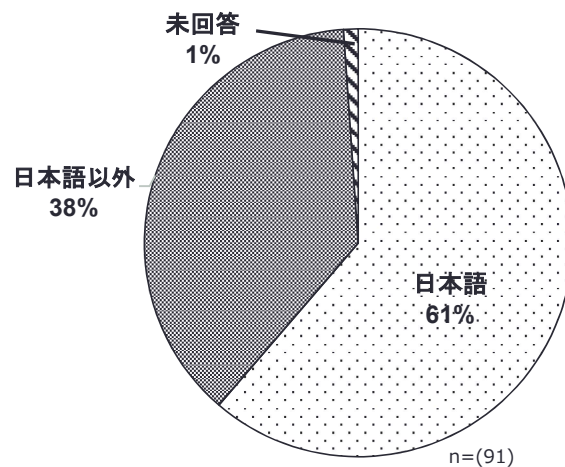
●この1週間で孤独を感じたか



●父親と会話する際の言語



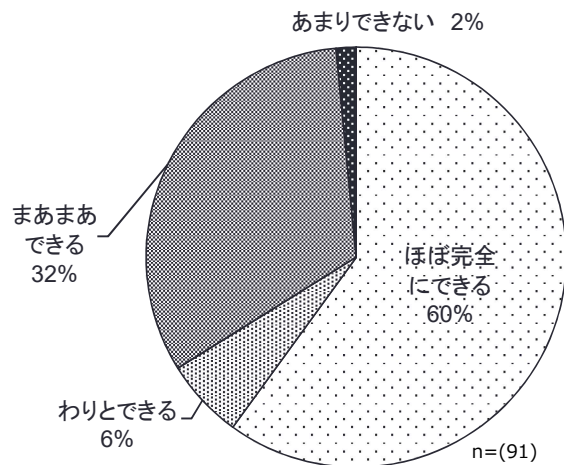
●母親と会話する際の言語



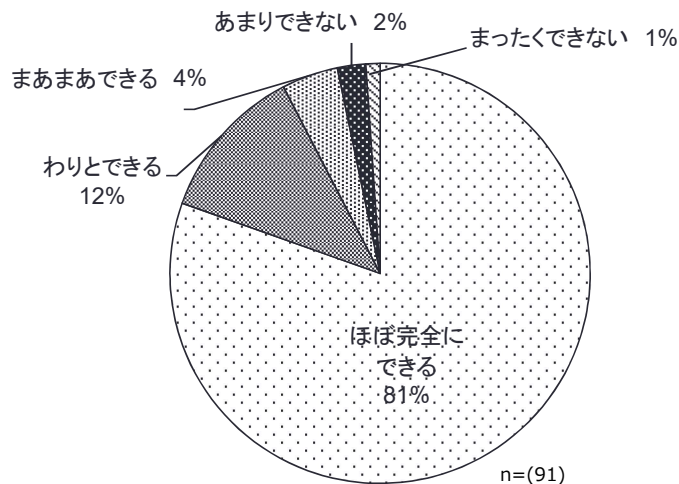
- ・健康状態については、「よい」「まあよい」を合わせると約8割となり、全体的に良好な状態である。
- ・孤独に関する質問については、ときどきあったを含め、約2割の子どもが孤独を感じていることが分かった。
- ・親と会話する際の言語は、3～4割程度の子どもの日本語以外を使っていることが分かった。

2 子どもへの調査結果 (3) 日本語習得状況・学力

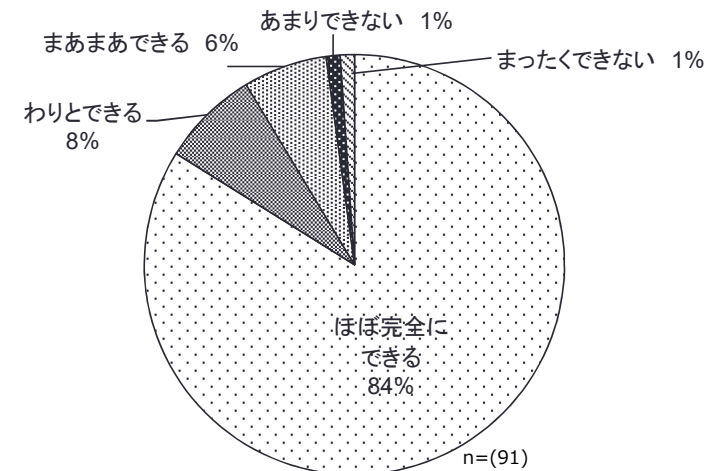
話す



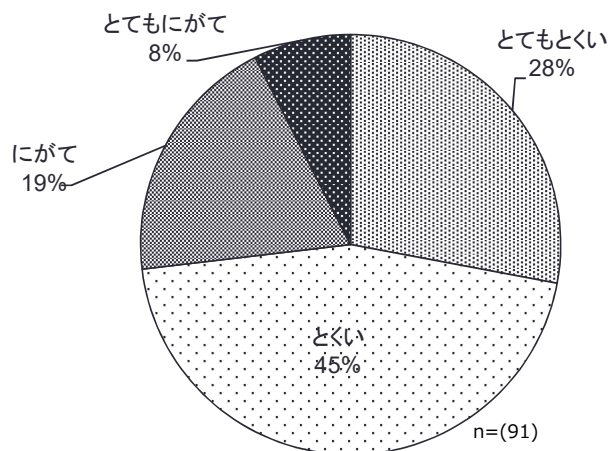
読む



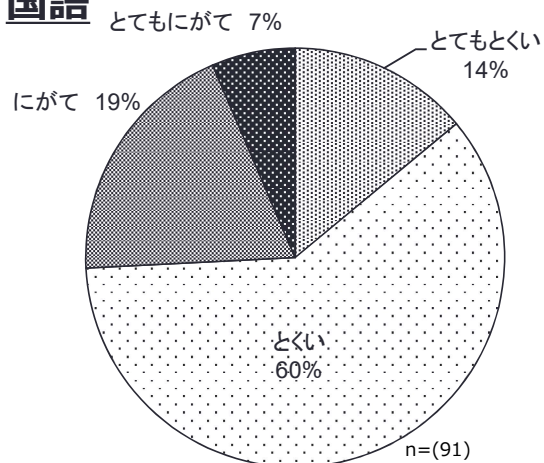
書く



算数・数学



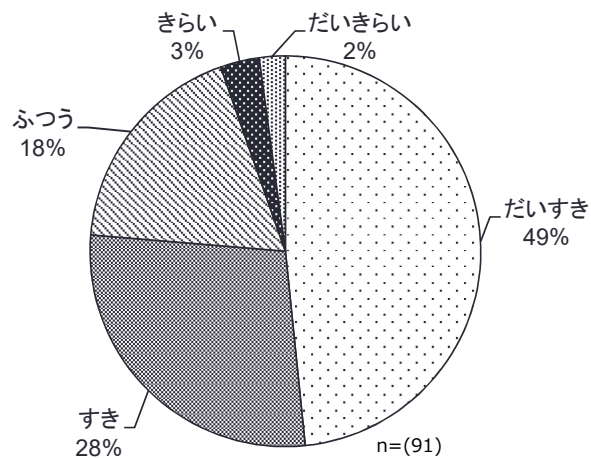
国語



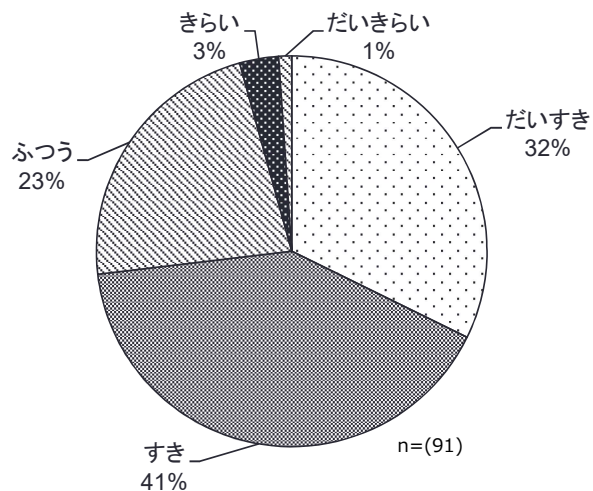
- ・日本語力については、話す/読む/聞くについて、いずれも「できる」とする回答が多かった。
- ・算数・数学と国語については、「とてもにがて」「にがて」の子ども数を合わせると、いずれも約25%となり、4人に1人は苦手意識があることが分かる。

2 子どもへの調査結果 (4)学校での生活

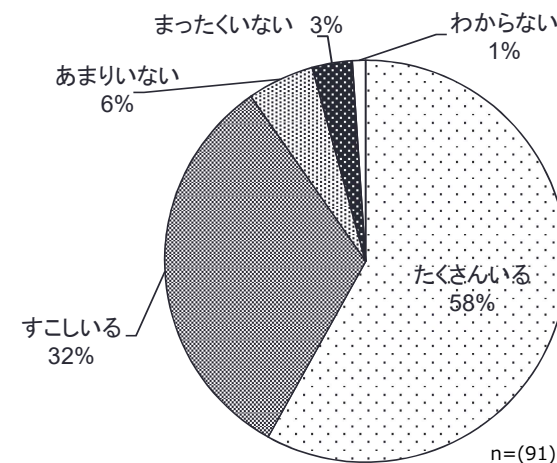
学校が好きか



担任の先生が好きか



友達がいるか



- ・約50%の子どもが「学校がだいすき」と回答しており、その理由としては「先生が好きだから」というよりも「友達に会えるから」とであると推察できる。
- ・友達については90%の子どもが「たくさんいる」「すこしいる」と回答しており、「日本語(会話・読み・書き)」は完全ではないが、友達をつくることはできる」ということが分かる。

3 インタビュー調査結果 (1) 調査概要

【調査概要】

実施日：令和4年12月13日

協力：NPO法人キッズドア（学習支援事業委託事業者）

目的：外国籍で生活困窮世帯の困りごとや悩みを直接聞き取ることで課題を明確化し、よりニーズに合った外国人施策の立案・実施へと繋げるため。

方法：『外国にルーツを持つ児童生徒等に対する学習支援事業』を利用中の子どもの保護者を対象に、インタビュー調査を実施。調査の同意を得られた保護者3名に対し、一人当たり約45分の対面聞き取り調査を行った。

調査対象	国籍	子ども	学習支援事業利用開始年度	備考
A	フィリピン	高校生	令和3年度	母子家庭・非課税世帯
B	フィリピン	小学生 中学生	令和2年度	母子家庭・要保護世帯
C	中国 (通訳あり)	中学生	令和3年度	準要保護世帯 両親ともに日本語が話せない

3 インタビュー調査結果 (2) 主な質問と回答

質問	回答 (抜粋)
区役所や学校が出している手紙の内容は理解できますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日たくさんの手紙やプリントが届き、読み解くのが大変。 ➡キッズドアスタッフに見せて内容を教えてもらっている。 ・スマホアプリで翻訳をして内容を確認している。
どんな行政の支援があると助かりますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・文書をやさしい日本語で作成してほしい(漢字が分からない)。 ・働くための日本語教室があったらいい。 ・初級の日本語教室があったらいい(現在開設している教室はレベルが高い)。
何らかの外国人/日本人コミュニティに入っていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・同じアパートの住人や親族の職場で外国の方がいるので繋がりがあある。 ※近所の日本人とも繋がりがあある。 ・日本語を学ぶ学校で不定期に交流会があある。 ・コミュニティの存在を知らない。ああったら参加してみたい。
子どもを学校に通わせている上で、困っていることはあありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字や理科が分からないと言っており、支援してほしい。 ・日本語が分からなくて困っている➡日本語学習支援を利用し改善傾向にあある。
子どもの進路についてどう考えていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・大学に行かせたい。
子どもの学習状況や心配事を相談できる人はあいますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生に電話で相談している。 ・キッズドアのスタッフに相談している。 ・友人に助けてもらっている。

4 課題と今後の支援について

調査から見えてきた課題

・時間がない、費用がかかるという理由で日本語を学ばない外国人が一定数存在する。(2ページ)

・区役所から届く手紙の内容が理解できない。(3ページ)

・約2割の子どもが「孤独を感じる」と回答している。(5ページ)

・「話す」ことが「ほぼ完全にできる」子どもの割合が、「読む・書く」のそれに比べて少なく、話すことに苦手意識を持っている。(6ページ)

今後の支援の方向性

こうした外国人の日本語学習環境を整えることを検討していく。

現在、区役所から外国人世帯へ通知を送付する際は、「英語・中国語・韓国語」に翻訳した文書を同封するよう努めているが、今後は「やさしい日本語」に書き換えた文書の同封など、通知の仕方について検討する。

現在行っている「外国にルーツをもつ子どもの学習支援」について、学習だけでなく子ども同士が交流できるスペースとしての活用についても検討していく。